

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

山形カシオ株式会社

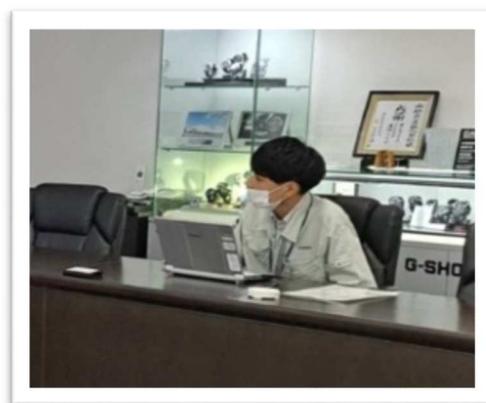
東根市にある山形カシオ株式会社の小野大輔さん取材しました！

小野さんは、岩手大学理工学部を卒業した後、2020年に入社しました。

現在は、部品製造技術部 かしよく 華飾技術課で勤務しています。

(1) 仕事内容編

——現在、どのようなお仕事をしていますか。



部品製造技術部の かしよく 華飾技術課に所属していて、じょうちやく 蒸着（金属や酸化物などを蒸発させて、素材の表面に付着させる表面処理あるいは薄膜を形成する方法）、塗装、印刷、インクジェットなどで時計部品に装飾を施しています。装飾部品は文字版や見切り版、針、日車、バンドなど多岐に渡っており、有名ブランドの「G-SHOCK」の他にも、「OCEANUS（オシアナス）」などの高級モデルを中心とした様々な時計に使用されます。

また、私は NPI（New Product Introduction：新規導入）業務に携わっており、新機種_の量産立ち上げも行っています。工程設計や試作の評価、生産条件の見極め、製造資料の作成、標準化など多様な業務に取り組んでいます。

——入社して良かったと感じるところを教えてください。

自分が携わった部品が使われている時計が、実際に売り場で売られているのを見た時は、これまでの頑張りが実感できたのでうれしかったです。身近なところで見かけられる製品に関われるという点で入社してよかったなって感じます。

——入社してから自分が成長したと感じるところを教えてください。

自分が行うことに対して、責任感をより強く感じるようになったと思います。仕事は自身で完結するものはほとんどなく、後工程である他部署や他の企業の方々の仕事にも影響していきます。そのため、自分がいい加減な仕事をしてしまうと、他の人に迷惑がかかってしまうと考えようになり、自分の仕事に対しての責任感を強く持つようになったと思います。

——仕事のやりがいや楽しみについて教えてください。

メディア等でまだ発表されていない、当社の新モデルの情報などを事前に知ることができることは仕事をしている上での楽しみですし、実際にその新モデルを立ち上げるのも私というところが仕事のやりがいにつながっています。



(2) 職場編



——山形カシオ株式会社に就職を決めたきっかけは何ですか。

大学では機械工学を専攻しており、もの作りをしているメーカーに入社したいと漠然と思っていましたが、就職活動の際に求人サイトや、実際の説明会で山形カシオのことを知りました。調べていく中で、国内唯一の生産拠点ということやカシオの高級時計はここでしか作っていない事を知り、企業としての魅力を感じました。また、G-SHOCK を以前から愛用していたことから、G-SHOCK の生産に携わりたいと思い入社を決めました。

——G-SHOCK の中でも特に好きなモデルはありますか。

G-STEEL というモデルが好きです。G-SHOCK は、プラスチックで作られている時計というイメージがあると思うのですが、G-SHOCK のゴツゴツした感じをメタルで表現しているところが好きなポイントです。

——社内の雰囲気や上司、同僚との関係などについて教えてください。

有給休暇がとても取りやすく、自分がどうしてもこの日は休みたい時は、社員同士でお互い仕事をカバーし合って休みが取れるので、プライベートと仕事が両立できる環境です。

——御社のアピールポイントを教えてください。

カシオの高級モデルの時計は、当社でしか作っていないところです。垂直統合型生産といって、金型設計から時計の組み立てまで一貫して社内で行うことで、トラブルや不具合等があった時にはすぐにフィードバックできる体制と技術力も魅力ではないかと思います。

(岸さん)

当社は1980年創業で、現在600名ほどの従業員が働いています。本社は山形県東根市にありますが、山梨県笛吹市にも事業所があります。カシオグループは本体のカシオ計算機を含めて、全体で40のグループ会社があり、その中で、生産する工場を持っているのが、日本、中国、タイの3か国です。山形カシオは、国内唯一の生産拠点として稼働している生産工場であり、さらにはグループの海外生産拠点の技術支援も行っています。主力商品は時計ですが、他にも高級電卓、プロジェクター、ハンディターミナルなどを生産しています。

その他に、ダーモカメラと呼ばれる皮膚癌を検知するために利用される機器や当社独自の水中トランシーバー（ロゴシーズ）も製造しています。

また、一般的な生産工場は、他社様から部品を調達して組み立てを行うところが多いのですが、当社は時計の金型をデザイン・設計するところから始まって、時計の中に組み込まれる小さな歯車や小パーツ、実装基盤も社内で生産しつつ、時計を組み立てるための自動機や各種ロボットも自社内で生産しています。こういったところが強みになります。



——懇親会なども多いのでしょうか。

(小野さん)

コロナ禍もあり、会社全体の懇親会などはまだ実施できていないのですが、所属部署の懇親会は最近ようやく1回開けたような状況です。

(岸さん)

丁度、彼が入社した年にコロナ禍になってしまったため、それ以来、なかなか大規模なイベントが開催できてない状況ですが、コロナ禍前は、会社全体のイベントとして、夏に納涼祭、年明けに新年会も開催していました。その他にも各所属で新入社員歓迎会や送別会も行っていました。今はまだ自粛しているところが多いです。今後は慎重に状況を見極めた上で、イベントを解禁できる時が来ればと思っています。

——他部署との交流はありますか。

(岸さん)

研修の時間などで様々な部署の若手社員と先輩社員の交流の場を設けて、若手社員が会社全体に馴染めるような機会を作っています。

先ほど申し上げた納涼祭や新年会も他部署交流の一環になります。



左奥から1番目：人事課の岸さん、左奥から3番目：人事課の安孫子さん

——インターンシップの特徴や募集方法などを教えてください。

(安孫子さん)

インターンシップはコロナ禍になって大きく実施方法が変わりました。コロナ禍前は、学生さんに来て頂いて実施していましたが、コロナ禍になってからはオンラインに全面的に切り替えて実施しています。ただ、コンテンツ自体は対面もオンラインも変わりのない実施形態を取っており、例えば、時計を組み立てるというコンテンツがあるのですが、こちらは組立キットを学生さんのご自宅に送って、画面を通して一緒に組み上げるという体験を実施しています。

また、コロナが5類になった今年度は、対面とオンラインの2通りの形式を準備したハイブリッド型で対応しています。対面型のコンテンツでは、DXやIoTに関する体験コースを用意しており、こちらは若手社員が学生さんに講義をしながら簡単なプログラミングを行い、それをフォローしていくような形式として開催いたしました。

——女性社員が活躍できる環境について教えてください。

(安孫子さん)

メーカーということもあり、圧倒的に男性の所属長（管理職）が多いのですが、現在、2名の女性が所属長として活躍しています。こうしたロールモデルができたこともあり、若い女性社員にも管理職というポジションに向き合ってもらえるような企画を進めたいです。

例えば、出産や子育てと仕事の両立に不安がある方には、同じ不安を経験した女性社員と交流することで不安を軽減したり、他社との交流会等を通じて自らリーダーシップを取っていくという視点に意識を繋げたり…ということを考えています。

(3) ある日の過ごし方編

● 8:30 【始業・朝の掃除】

就業開始時間になったら毎日、事務所前の廊下掃除を行います。

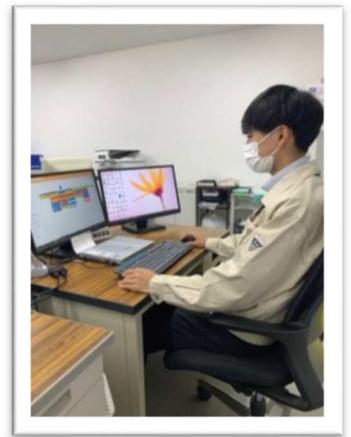
● 8:45 【メールの確認等】

ミーティングまでメールの確認を行います。

また、確定している予定は Google カレンダーに予定を入力します。
メールの確認はこまめに行うよう心がけています。

● 9:00 【課内ミーティング】

自分の担当機種を進捗や不具合情報などを課内で共有します。
担当機種で課題を抱えていたり、初めて担当したりするような部品は
先輩社員からアドバイスを頂きます。



● 10:00 【サンプル確認】

協力企業さんに依頼していた試作サンプルの品質を確認します。
社内で様々な評価を実施し、製品が問題ないか確認します。

● 12:40 【お昼休憩】

社員食堂で、同期と一緒にご飯を食べています。好きなメニューはチキン南蛮です。

● 13:30 【社内試作】

現在進行中の新機種の試作を行い、サンプル作成をします。
安定した品質で量産が行えるように、生産条件の見極めや作業性で
問題ないか等を確認しながらサンプル作成を行います。

● 17:20 【退勤】

退勤し自宅に着いたら、毎日ランニングをします。

(4) むらやまでの暮らし編

——村山地域で就職する決め手になったことは何ですか？

正直なところ、就職する場所にこだわりはそこまで強くありませんでした。強いて言うならば、当社は、地元の仙台から車で1時間ぐらいで行けるので、実家からの近さが決め手と思っています。

——村山地域で暮らして良かったと思うことを教えてください。

1番感じたのは果物がおいしいことです(笑)。仙台で買った果物とこっちの道の駅で買った果物だと、こっちで買った方がすごく美味しいですね。ここで暮らしていてすごく良かったと思っています。

——仕事が終わって帰宅した後やお休みの日などは、どのように過ごしていますか。

退勤後は、基本的に平日は毎日、ランニングをしています。ランニングをしない日は、帰宅ルートに好きなラーメン屋さんがあるので帰りにラーメンを食べて帰ります。



——**おすすめのお店や場所、行事などについて教えてください。**

果物でおいしいと思ったのは、ラ・フランスです。甘さが違います。それから、おすすめのお店は、国道 13 号線から少し入った東根市神町にある「こう路」というラーメン屋さんです。とんこつラーメンが美味しく、ちょうど帰宅ルートの途中にあって、家からもそんな遠くないので頻繁に通っています。

それから、好きなイベントは、駅伝として、東日本で最長距離のコースを、3 日間で走る山形県縦断駅伝です。山形県内を 1 周する大きな大会で、箱根駅伝よりも長距離という大きな大会があるのも、山形県の魅力の 1 つだと思っています。

——**出身が宮城県、大学が岩手県、就職が山形県という事ですが、他県と比べて山形県の良さがあったら教えてください。**

山形県のいいところは果物のお裾分けが多い事だと思います（笑）。東根市がさくらんぼで有名ということもあり、さくらんぼのお裾分けが多いですね。今まで仙台の実家でも、大学生として岩手で暮らしていた時もそんなことはなかったもので、果物が有名な山形県ならではのだと感じています。

(5) まとめ編



——仕事をしていく中で、今後の目標はありますか。

担当している製品の中には、何十万円もする高額な時計の部品もあるので、まずは不具合なく立ち上げて、高品質な量産に努めていきたいと思っています。そして、徐々にスキルアップもできているので、今後は、より難易度の高い部品の立ち上げを行えるようになりたいです。

また、10年後くらいには、上司からも部下からも頼られる中堅社員になりたいです。

——最後に、これから就活する学生へ向けて、アドバイスをお願いします。

まずは、自分が納得いくまで、会社の企業研究をしてほしいと思います。また、企業のwebサイトやネット上の情報だけではなく、インターンシップや会社説明会に参加して、社員さんの声も聞いた方がいいと思います。実際にそこで働いている人の声を聞くと、自分が思っていたイメージと違ったり、「この会社のここは面白そう!」といった発見があると思います。そうすると、自分と企業のミスマッチングを減らす事にもつながるので、大事にしてほしいと思います。

——ありがとうございました!

山形カシオの小野さんはやりがいをもってお仕事をされていることや、趣味と仕事を両立しながら、充実した生活をされていることが分かりました。女性の活躍するロールモデルについても聞くことができ、男性も女性も働きやすく成長できる環境であるように思います。

また、記事で取り上げさせて頂いた内容に加えて、勤続年数が比較的長いことやシニアの

R5 年度働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業
山形カシオ株式会社

再雇用も行っていることが聞けたのも印象的で、幅広い年代の方々に愛されている企業だと感じました。今回取材させていただいた 3 名の和やかな雰囲気からも山形カシオさんが素敵な会社であることが伝わってきました。

【インタビュアー：山形大学人文社会科学部 山貝翠来、工学部 原野未優、三船歩美】



山形カシオ株式会社

【山形から世界へ…カシオグループのマザーファクトリー】

グループの生産中枢を担い、最先端の CASIO ブランド商品を世界中に送り出しています。また、独自技術による商品開発も行っており、お客様に新たな価値を創造し続けています。

☆「ものづくり日本大賞東北経済産業局長賞」受賞 "Logosease"、「次世代育成支援認定マーク」取得…など

- ・所在地 山形県東根市大字東根甲 5400-1
- ・設立 昭和 54 年 10 月
- ・従業員数 598 名（男性 346 名、女性 252 名）
- ・URL <https://www.yamagata-casio.co.jp/>

